

日本語曲を原曲とする中国語カバー曲における

歌詞の押韻率と意味合致度の分析

Analysis of rhyme and meaning similarity in Japanese and Chinese lyrics among cover songs

学籍番号: 201521657

氏名: CAO CHONG

Chong CAO

本研究は、日本語曲を原曲とする中国語カバー曲の歌詞の特徴を明らかにするために、日本語曲と中国語カバー曲の歌詞の押韻率と意味合致度の二つ概念を導入し、分析を行った。

本研究において、押韻率とは歌詞のフレーズごとの韻を踏んでいる割合と定義され、意味合致度とはカバー曲の歌詞の意味が原曲の歌詞の意味と合致する度合いを数値化したものと定義される。

押韻率に関する分析は、中国語と日本語における押韻基準を検討し、押韻率の算出方法を決めた上で行った。また分析のために、中国語と日本語をそれぞれの発音記号に変換するプログラムを作成した。発音記号に変換された歌詞データをもとに、押韻率の算出を行った。

意味合致度の分析は、日本語と中国語の両方を理解できる人の協力のもと主観評価を用いて行った。中国語カバー曲の歌詞と日本語原曲の歌詞の意味が合致する程度を5段階評価で回答するアンケート調査の結果により、意味合致度の算出を実現した。

分析の結果、54%の中国語カバー曲の歌詞が80%以上の押韻率である一方、日本語原曲の歌詞との意味合致度が低かった。ただし、2000年以降にカバーされた曲に関しては、一部の楽曲において40%を下回る押韻率が現れるようになった。そして、同一歌唱者によるセルフカバーにおいては、意味合致度が高いことが示唆された。アニメテーマソングなどの楽曲のカテゴリ別による差は見られなかった。サビとサビ以外の楽曲構造の分析の結果、明らかな傾向が見られなかった。

以上の結果から、中国語カバー曲の歌詞が創作される際に、原曲の意味を保持することよりも、歌詞の押韻のほうが重視されているという中国語カバー曲の歌詞創作の特徴が明らかにされた。本研究の知見が今後の中国語カバー曲の歌詞創作の際の参考になることを期待している。

研究指導教員: 平賀 譲

副研究指導教員: 寺澤 洋子